

但馬管内の景気動向調査

2022年1～3月期実績・2022年4～6月期見通し

【特別調査】原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について

調査の概要

1. 回答数:462(前回:464)
 2. 調査時点 2022年3月上旬
 3. 当金庫 営業店の調査員による、共通の調査表に基づく聴取り調査
 4. 分析方法:デフュージョン・インデックス(D.I.)
景気の各項目事項について、「増加」(良い)―「減少」(悪い)の構成比の差＝
判断 D.I.に基づく分析
- ※全国とは、信用金庫の中央機関である信金中央金庫が全国各地の信用金庫から調査した調査の結果を示している。



但馬信用金庫

1. 概況（回答数462 前回464）

今回(2022年1～3期)の業況D.I.は△38.0となり、全国△27.6を下回った。業種別では、不動産業を除く5業種で悪化した。前四半期比では△25.7となり、1年ぶりの悪化であった。また、項目別では、販売価格D.I.・仕入価格D.I.がともに上昇している業種が多く見られるが、仕入価格D.I.の上昇のほうが大きい傾向にあった。

次回(2022年4～6月期)の業況D.I.は△27.4と、小幅ながら改善が予想されている。

全体	2022年1～3月期実績	前四半期比	2022年4～6月期予想
業況D. I.	△ 38.0	△ 25.7	△ 27.4
前年同期比売上額D. I.	△ 12.4	△ 14.3	-
前年同期比収益D. I.	△ 22.6	△ 20.7	-
売上額D. I.	△ 17.1	△ 29.8	△ 6.3
収益D. I.	△ 27.1	△ 34.4	△ 11.0
資金繰りD. I.	△ 21.0	△ 8.3	△ 18.6
借入金の難易度D. I.	△ 9.7	△ 2.3	-
前期比残業時間D. I.	△ 7.4	△ 9.3	△ 7.1
人手過不足D. I.	△ 16.4	0.5	△ 17.5

業種名	時期	2021年 10月～12月	2022年 1月～3月	2022年 4月～6月(見通し)
総合				
製造業				
建設業				
卸売業				
小売業				
不動産業				
サービス業				

(この天気図は、過去1年の景気指標を総合的に判断して作成したものです。)

好調 ← → 低調



2. 製造業（回答数84 前回84）

今回(2022年1～3期)の業況D.I.は△28.6となり、前四半期比10.7ポイントの悪化となった。

原材料価格D.I.が56.0であり、依然として原材料価格が高止まっている。また、設備投資D.I.は26.2となっており、約4分の1の企業が当期に設備投資したという結果となっている。

次回(2022年4～6期)の業況D.I.は△20.2となっており、小幅な改善の予想となっている。但し、人手過不足D.I.は△31.3と、人手不足感は強まる予想である。

製造業	2022年1～3期実績	前四半期比	2022年4～6期予想
業況D.I.	△ 28.6	△ 10.7	△ 20.2
前年同期比売上額D.I.	6.0	3.5	-
前年同期比収益D.I.	△ 8.3	△ 13.2	-
売上額D.I.	△ 1.2	△ 21.4	3.6
受注残D.I.	△ 2.4	△ 20.2	△ 4.8
収益D.I.	△ 22.6	△ 38.1	△ 10.7
販売価格D.I.	21.4	2.4	15.5
原材料価格D.I.	56.0	3.6	45.2
原材料在庫D.I.	0.0	△ 1.2	△ 3.6
資金繰りD.I.	△ 19.0	0.0	△ 20.2
借入金の難易度D.I.	△ 7.3	△ 2.6	-
前期比残業時間D.I.	1.2	△ 7.1	△ 3.6
人手過不足D.I.	△ 26.5	△ 5.1	△ 31.3
現在の設備D.I.	△ 16.7	1.2	-
設備投資D.I.	26.2	3.6	-
来期設備投資D.I.	22.6	△ 14.3	-

3. 建設業（回答数88 前回92）

今回(2022年1～3期)の業況D.I.は△15.9。前回はプラスに転じていたが、今回、再びマイナス水準となった。今回の材料価格D.I.が54.5、前四半期比+18.7ポイントと大きく増加しており、次回も高い水準が続く予想である。また、人手過不足D.I.は△30.1と人手不足の傾向があり、次回(△29.8)も引き続き人手不足感が強い見通しとなっている。

次回(2022年4～6期)の業況D.I.は、今回からほぼ横ばい推移の△14.8となっており、今回同様にマイナス水準が予想されている。

建設業	2022年1～3期実績	前四半期比	2022年4～6期予想
業況D.I.	△ 15.9	△ 20.3	△ 14.8
前年同期比売上額D.I.	△ 6.8	△ 12.3	-
前年同期比収益D.I.	△ 17.0	△ 13.8	-
売上額D.I.	△ 15.9	△ 21.3	5.7
受注残D.I.	△ 12.5	△ 13.6	△ 3.4
施工高D.I.	△ 15.9	△ 19.2	3.4
収益D.I.	△ 21.6	△ 20.5	△ 4.5
請負価格D.I.	2.3	△ 5.3	5.7
材料価格D.I.	54.5	18.7	47.7
在庫D.I.	△ 2.3	2.0	△ 3.5
資金繰りD.I.	△ 10.2	△ 5.9	△ 6.8
借入金の難易度D.I.	0.0	4.4	-
前期比残業時間D.I.	△ 4.6	△ 2.4	△ 9.1
人手過不足D.I.	△ 30.1	△ 12.5	△ 29.8
現在の設備D.I.	△ 6.9	8.3	-
設備投資D.I.	22.7	△ 4.4	-
来期設備投資D.I.	26.1	△ 4.3	-

4. 卸売業（回答数53 前回55）

今回(2022年1～3期)の業況D.I.が△35.8となり、前四半期比で19.5ポイントの悪化となった。

売上額D.I.が△32.1、収益D.I.が△37.7であり、売上と収益はともに厳しい状況であることが窺える。販売価格D.I.が17.0、仕入価格D.I.が49.1であり、販売価格引上げより仕入価格上昇のほうが大きいことが考えられる。

次回(2022年4～6期)の業況D.I.は△24.5とやや改善の予想。仕入価格D.I.が28.3と、仕入価格上昇は少し落ち着く見通しとなっている。

卸売業	2022年1～3期実績	前四半期比	
		前四半期比	2022年4～6期予想
業況D.I.	△ 35.8	△ 19.5	△ 24.5
前年同期比売上額D.I.	△ 11.5	△ 26.1	-
前年同期比収益D.I.	△ 19.2	△ 30.1	-
前年同期比販売価格D.I.	34.6	7.3	-
売上額D.I.	△ 32.1	△ 19.1	△ 9.4
収益D.I.	△ 37.7	△ 26.6	△ 15.1
販売価格D.I.	17.0	△ 3.4	13.2
仕入価格D.I.	49.1	13.9	28.3
在庫D.I.	5.7	3.8	9.4
資金繰りD.I.	△ 13.2	3.8	△ 15.1
借入金の難易度D.I.	△ 9.4	3.3	-
前期比残業時間D.I.	△ 11.3	△ 11.3	△ 11.3
人手過不足D.I.	△ 13.5	1.1	△ 13.5
現在の設備D.I.	△ 11.3	△ 7.7	-
設備投資D.I.	26.4	2.8	-
来期設備投資D.I.	26.4	4.6	-

5. 小売業（回答数75 前回74）

今回(2022年1～3期)の業況D.I.は△57.5と非常に厳しい水準であり、業種中で最も悪い結果であった。

前年同期比収益D.I.△42.7、収益D.I.△44.0と、収益面で非常に厳しい結果であった。仕入価格D.I.が今回44.0、前四半期比17.0となっており、仕入価格上昇が収益面に影響を与えていることが考えられる。

次回(2022年4～6期)の業況D.I.は△45.2であり、やや改善する予想となっているが、依然として厳しい状況である。

小売業	2022年1～3期実績	前四半期比	
		前四半期比	2022年4～6期予想
業況D.I.	△ 57.5	△ 21.9	△ 45.2
前年同期比売上額D.I.	△ 28.0	△ 13.1	-
前年同期比収益D.I.	△ 42.7	△ 29.2	-
前年同期比販売価格D.I.	25.3	11.8	-
売上額D.I.	△ 26.7	△ 26.7	△ 20.0
収益D.I.	△ 44.0	△ 42.6	△ 24.0
販売価格D.I.	25.3	6.4	18.7
仕入価格D.I.	44.0	17.0	33.3
在庫D.I.	△ 2.7	△ 1.3	△ 4.0
資金繰りD.I.	△ 28.0	△ 9.1	△ 20.0
借入金の難易度D.I.	△ 12.2	2.9	-
前期比残業時間D.I.	△ 10.7	△ 6.6	△ 8.0
人手過不足D.I.	△ 13.5	0.0	△ 12.2
現在の設備D.I.	△ 13.3	△ 1.0	-
設備投資D.I.	18.7	1.1	-
来期設備投資D.I.	17.3	△ 5.6	-

6. 不動産業（回答数 16 前回 14）

今回（2022年1～3期）の業況 D.I.は△18.8となっており、唯一、前四半期比が改善となった業種であった。前四半期比の販売価格 D.I.が 20.5 となっており、業況 D.I.が改善した要因の一つとなっていることが考えられる。

一方で借入金の難易度 D.I.は△14.3と、前四半期比 21.4 ポイント悪化しており、資金調達はやや難しい状況であることが窺える。

次回（2022年4～6期）の業況 D.I.は△18.8となっており、横ばいにて推移することが予想されている。

不動産業	2022年1～3期実績	前四半期比	2022年4～6期予想
業況D.I.	△ 18.8	17.0	△ 18.8
前年同期比売上額D.I.	△ 6.7	43.3	-
前年同期比収益D.I.	△ 6.7	36.2	-
売上額D.I.	0.0	7.1	△ 18.8
収益D.I.	0.0	28.6	△ 12.5
販売価格D.I.	6.3	20.5	△ 6.3
仕入価格D.I.	6.3	6.3	6.3
在庫D.I.	△ 6.3	15.2	△ 12.5
資金繰りD.I.	△ 12.5	1.8	△ 12.5
借入金の難易度D.I.	△ 14.3	△ 21.4	-
前期比残業時間D.I.	△ 6.3	8.0	△ 6.3
人手過不足D.I.	0.0	0.0	0.0

7. サービス業（回答数 146 前回 146）

今回（2022年1～3期）の業況 D.I.は△50.0、前四半期比△45.9であった。前回は大幅に改善したが、今回は大幅に悪化する結果となった。

売上額 D.I.が△18.5（前四半期比 49.5 ポイント悪化）、材料価格 D.I.が 50.0、資金繰り D.I.が△29.5 の状況から、売上確保が厳しい中、材料価格が高騰していることにより資金繰り悪化に繋がっていることが考えられる。

次回（2022年4～6期）の業況 D.I.は△32.2と小幅改善の予想となっているが、資金繰り D.I.は△26.0と、資金繰りは依然厳しい見通しである。

サービス業	2022年1～3期実績	前四半期比	2022年4～6期予想
業況D.I.	△ 50.0	△ 45.9	△ 32.2
前年同期比売上額D.I.	△ 19.2	△ 27.5	-
前年同期比収益D.I.	△ 26.7	△ 26.7	-
売上額D.I.	△ 18.5	△ 49.5	△ 9.7
収益D.I.	△ 23.3	△ 46.0	△ 6.8
料金価格D.I.	22.6	1.2	△ 6.2
材料価格D.I.	50.0	15.5	17.8
資金繰りD.I.	△ 29.5	△ 19.1	△ 26.0
借入金の難易度D.I.	△ 15.3	△ 8.9	-
前期比残業時間D.I.	△ 11.0	△ 17.2	△ 6.2
人手過不足D.I.	△ 6.9	11.1	△ 8.3
現在の設備D.I.	△ 22.1	0.8	-
設備投資D.I.	20.5	△ 5.7	-
来期設備投資D.I.	27.4	3.3	-



業種別 D I 等の推移表

製造業	業況	前年同期に比べた				受注残	収益	販売価格	原材料価格	原材料在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
		売上額	収益	売上額	収益											
2020.10~12	△ 43.2	△ 47.7	△ 46.6	△ 16.1	△ 11.4	△ 17.2	6.8	26.1	26.1	11.4	△ 21.6	△ 26.1	△ 9.1	2.3	△ 12.5	22.7
2021.1~3	△ 45.6	△ 49.4	△ 50.6	△ 44.4	△ 38.2	△ 46.1	△ 3.4	21.3	△ 1.1	△ 18.0	△ 23.6	△ 9.0	△ 1.1	△ 20.2	26.7	
2021.4~6	△ 49.4	△ 20.5	△ 20.7	△ 33.7	△ 36.1	△ 37.3	1.2	38.6	2.4	△ 15.7	△ 15.7	△ 12.2	△ 8.5	△ 15.7	33.7	
2021.7~9	△ 46.9	△ 13.4	△ 20.7	△ 24.1	△ 26.5	△ 34.9	6.0	48.2	1.2	△ 20.5	△ 8.4	△ 22.9	△ 9.8	△ 28.4	26.5	
2021.10~12	△ 17.9	2.4	4.8	20.2	17.9	15.5	19.0	52.4	1.2	△ 19.0	8.3	△ 21.4	△ 4.8	△ 17.9	22.6	
2022.1~3	△ 28.6	6.0	△ 8.3	△ 1.2	△ 2.4	△ 22.6	21.4	56.0	0.0	△ 19.0	1.2	△ 26.5	△ 7.3	△ 16.7	26.2	
2022.4~6	△ 20.2															

建設業	業況	前年同期に比べた				旅行高	収益	請負価格	材料価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合
		売上額	収益	売上額	収益											
2020.10~12	△ 35.3	△ 43.0	△ 41.9	△ 25.6	△ 31.8	△ 29.1	△ 29.1	△ 4.7	10.5	0.0	△ 17.4	△ 10.6	△ 15.7	△ 4.8	△ 4.7	27.9
2021.1~3	△ 14.6	△ 22.0	△ 14.6	△ 15.9	△ 12.2	△ 7.3	△ 8.5	△ 4.9	8.5	0.0	△ 13.4	△ 4.8	△ 25.3	△ 6.2	△ 13.3	27.7
2021.4~6	△ 23.0	△ 10.5	△ 10.5	△ 11.5	△ 18.4	△ 12.6	△ 16.1	△ 11.5	27.6	0.0	0.0	△ 6.9	△ 22.6	△ 4.7	△ 12.6	24.1
2021.7~9	△ 16.8	△ 5.3	△ 7.4	△ 4.2	△ 2.1	△ 3.2	△ 8.4	△ 6.3	27.4	△ 2.1	△ 15.8	0.0	△ 14.1	△ 7.7	△ 16.0	24.2
2021.10~12	4.4	5.4	△ 3.3	5.4	1.1	3.3	△ 1.1	7.6	35.9	△ 4.3	△ 4.3	△ 2.2	△ 17.6	△ 4.4	△ 15.2	27.2
2022.1~3	△ 15.9	△ 6.8	△ 17.0	△ 15.9	△ 12.5	△ 15.9	△ 21.6	2.3	54.5	△ 2.3	△ 10.2	△ 4.6	△ 30.1	0.0	△ 6.9	22.7
2022.4~6	△ 14.8															

卸売業	業況	前年同期に比べた				仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合			
		売上額	収益	売上額	収益											
2020.10~12	△ 63.5	△ 63.5	△ 61.5	0.0	△ 19.2	△ 21.2	△ 1.9	11.5	13.5	△ 28.8	△ 21.2	△ 17.3	△ 19.6	△ 15.4	25.0	
2021.1~3	△ 59.2	△ 59.2	△ 63.3	△ 10.2	△ 49.0	△ 46.9	△ 12.2	△ 2.0	14.3	△ 26.5	△ 24.5	△ 10.4	△ 8.5	△ 20.4	38.8	
2021.4~6	△ 56.0	△ 30.0	△ 34.0	△ 16.0	△ 38.0	△ 38.0	△ 16.0	6.0	8.0	△ 18.4	△ 22.0	△ 4.0	△ 10.2	△ 8.0	28.0	
2021.7~9	△ 44.4	△ 5.6	△ 18.5	16.7	△ 11.1	△ 24.1	7.4	22.2	1.9	△ 20.8	△ 20.4	△ 9.4	△ 13.0	△ 11.1	20.4	
2021.10~12	△ 16.4	14.5	10.9	27.3	△ 13.0	△ 11.1	20.4	35.2	1.9	△ 17.0	0.0	△ 14.5	△ 12.7	△ 3.6	23.6	
2022.1~3	△ 35.8	△ 11.5	△ 19.2	34.6	△ 32.1	△ 37.7	17.0	49.1	5.7	△ 13.2	△ 11.3	△ 13.5	△ 9.4	△ 11.3	26.4	
2022.4~6	△ 24.5															

小売業	業況	前年同期に比べた				仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合			
		売上額	収益	売上額	収益											
2020.10~12	△ 41.9	△ 47.9	△ 45.2	△ 2.7	△ 8.1	△ 16.2	1.4	9.5	6.8	△ 21.6	△ 16.2	△ 12.5	△ 19.2	△ 6.8	33.8	
2021.1~3	△ 63.5	△ 64.0	△ 52.0	△ 6.7	△ 48.0	△ 44.0	2.7	9.3	4.0	△ 28.0	△ 16.0	1.3	△ 23.0	△ 12.2	18.7	
2021.4~6	△ 51.9	△ 26.6	△ 24.1	1.3	△ 45.6	△ 41.8	△ 1.3	10.1	1.3	△ 24.1	△ 16.5	△ 3.8	△ 20.3	△ 13.9	16.5	
2021.7~9	△ 46.6	△ 36.5	△ 32.4	4.1	△ 31.1	△ 33.8	5.4	16.2	2.7	△ 24.3	△ 15.1	△ 5.5	△ 17.8	△ 13.5	13.5	
2021.10~12	△ 35.6	△ 14.9	△ 13.5	13.5	0.0	△ 1.4	18.9	27.0	△ 1.4	△ 18.9	△ 4.1	△ 13.5	△ 15.1	△ 12.3	17.6	
2022.1~3	△ 57.5	△ 28.0	△ 42.7	25.3	△ 26.7	△ 44.0	25.3	44.0	△ 2.7	△ 28.0	△ 10.7	△ 13.5	△ 12.2	△ 13.3	18.7	
2022.4~6	△ 45.2															

サービス業	業況	前年同期に比べた				料金価格	材料価格	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度	現在の 設備	設備投資 実施割合			
		売上額	収益	売上額	収益											
2020.10~12	△ 22.2	△ 29.9	△ 30.1	△ 5.6	△ 7.0	11.1	18.8	△ 23.6	△ 10.4	△ 19.4	△ 8.5	△ 22.2	20.8			
2021.1~3	△ 59.9	△ 55.6	△ 53.0	△ 48.7	△ 47.4	△ 4.6	2.0	△ 37.5	△ 19.7	△ 6.6	△ 8.8	△ 17.9	18.4			
2021.4~6	△ 52.6	△ 39.5	△ 41.4	△ 51.3	△ 50.7	△ 10.5	3.3	△ 30.9	△ 21.7	△ 7.3	△ 11.2	△ 22.4	23.7			
2021.7~9	△ 52.7	△ 33.1	△ 34.5	△ 28.8	△ 28.1	0.7	11.0	△ 27.4	△ 11.0	△ 7.7	△ 9.7	△ 24.7	19.9			
2021.10~12	△ 4.1	8.3	0.0	31.0	22.8	21.4	34.5	△ 10.3	6.3	△ 18.1	△ 6.4	△ 22.9	26.2			
2022.1~3	△ 50.0	△ 19.2	△ 26.7	△ 18.5	△ 23.3	22.6	50.0	△ 29.5	△ 11.0	△ 6.9	△ 15.3	△ 22.1	20.5			
2022.4~6	△ 32.2															

不動産業	業況	前年同期に比べた				販売価格	仕入価格	在庫	資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度				
		売上額	収益	売上額	収益											
2020.10~12	△ 46.2	△ 30.8	△ 23.1	△ 38.5	△ 38.5	△ 15.4	△ 15.4	△ 25.0	0.0	△ 30.8	△ 15.4	8.3				
2021.1~3	△ 42.9	△ 28.6	△ 50.0	△ 21.4	△ 35.7	△ 23.1	0.0	△ 23.1	0.0	0.0	0.0	14.3				
2021.4~6	△ 37.5	△ 25.0	△ 46.7	△ 43.8	△ 50.0	△ 12.5	0.0	△ 20.0	0.0	0.0	△ 6.3	6.3				
2021.7~9	△ 47.1	△ 47.1	△ 35.3	△ 52.9	△ 52.9	△ 11.8	6.3	△ 20.0	△ 17.6	△ 29.4	△ 5.9	△ 5.9				
2021.10~12	△ 35.7	△ 50.0	△ 42.9	△ 7.1	△ 28.6	△ 14.3	0.0	△ 21.4	△ 14.3	△ 14.3	0.0	7.1				
2022.1~3	△ 18.8	△ 6.7	△ 6.7	0.0	0.0	6.3	6.3	△ 6.3	△ 12.5	△ 6.3	0.0	14.3				
2022.4~6	△ 18.8															

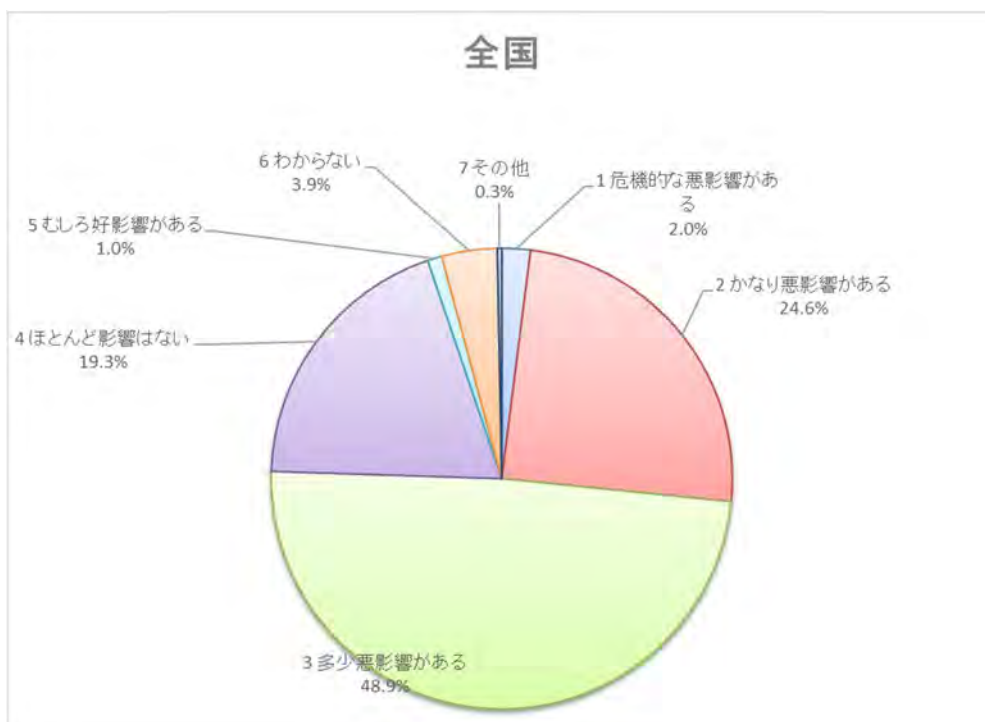
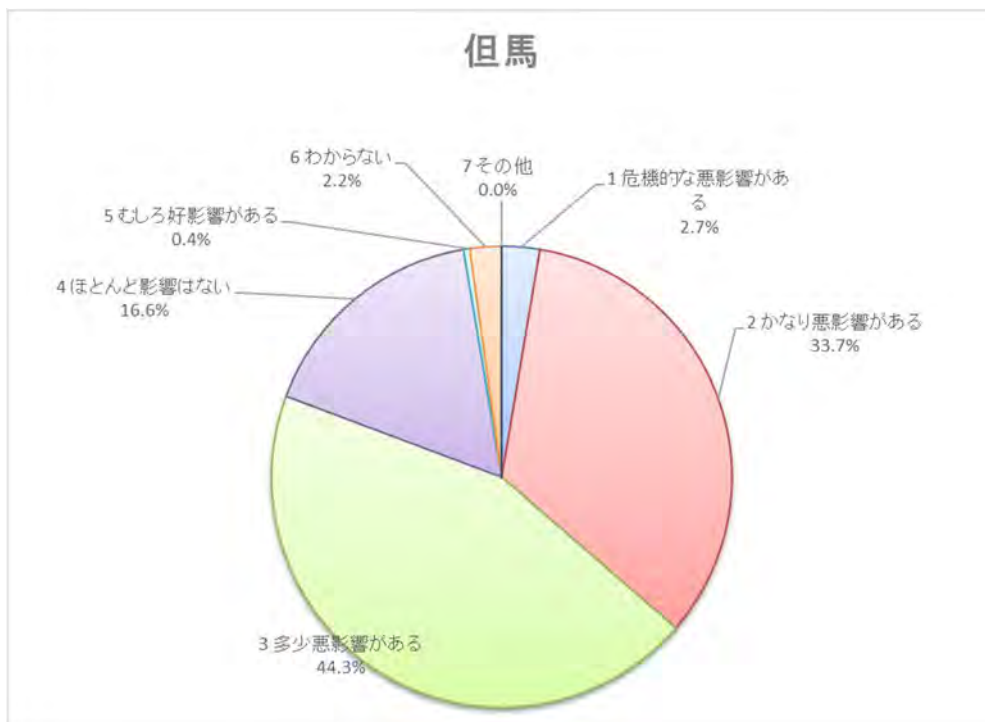
全業種	業況	前年同期に比べた				資金繰り	前期比 残業時間	人手	借入金の 難易度
		売上額	収益	売上額	収益				
2018.4~6	△ 16.4	△ 11.9	△ 16.9	△ 17.4	△ 15.8	△ 20.0	△ 1.0	△ 31.9	△ 4.0
2018.7~9	△ 14.2	△ 10.2	△ 12.7	△ 4.1	△ 3.0	△ 16.2	△ 0.5	△ 25.2	△ 8.9
2018.10~12	△ 3.4	△ 10.7	△ 14.4	13.4	6.2	△ 16.8	6.9	△ 29.9	△ 8.2
2019.1~3	△ 5.0	△ 8.2	△ 6.7	△ 7.9	△ 9.2	△ 10.9	△ 1.7	△ 32.9	△ 5.3
2019.4~6	△ 13.2	△ 10.8	△ 10.6	△ 7.9	△ 13.7	△ 16.6	△ 7.1	△ 21.9	△ 8.6
2019.7~9	△ 15.3	△ 7.8	△ 11.2	△ 3.7	△ 8.7	△ 18.0	△ 3.9	△ 27.5	△ 8.5
2019.10~12	△ 14.9	△ 7.8	△ 14.7	0.3	△ 3.0	△ 18.5	0.0	△ 34.8	△ 13.2
2020.1~3	△ 33.3	△ 34.1	△ 33.9	△ 27.5	△ 28.0	△ 20.4	△ 9.5	△ 14.9	△ 11.4
2020.4~6	△ 72.7	△ 72.9	△ 70.8	△ 70.2	△ 68.6	△ 45.4	△ 41.3	2.6	△ 8.8
2020.7~9	△ 50.0	△ 60.8	△ 58.9	△ 26.7	△ 28.3	△ 27.8	△ 25.9	△ 4.3	△ 8.1
2020.10~12	△ 37.3	△ 42.5	△ 41.3	△ 14.3	△ 17.1	△ 21.7	△ 16.2	△ 15.3	△ 8.3
2021.1~3	△ 49.0	△ 49.3	△ 46.5	△ 41.1	△ 39.3	△ 25.6	△ 17.1	△ 9.4	△ 8.4
2021.4~6	△ 46.3	△ 27.0	△ 28.4	△ 38.1	△ 39.0	△ 18.9	△ 16.3	△ 10.0	△ 10.3
2021.7~9	△ 42.3	△ 21.8	△ 24.5	△ 22.2	△ 26.7	△ 22.0	△ 10.7	△ 11.5	△ 10.8
2021.10~12	△ 12.3	1.9	△ 1.9	12.7	7.3	△ 12.8	1.9	△ 16.9	△ 7.4
2022.1~3	△ 38.0	△ 12.4	△ 22.6	△ 17.1	△ 27.1	△ 21.0	△ 7.4	△ 16.4	△ 9.7
2022.4~6	△ 27.4								

全国	業況	前年同期に比べた			
		売上額	収益	資金繰り	人手
2018.4~6	△ 2.5	0.7	△ 4.0	△ 4.0	△ 26.0
2018.7~9	△ 2.1	1.5	△ 3.1	△ 5.1	△ 26.0
2018.10~12	4.0	3.6	△ 1.1	△ 5.0	△ 29.9
2019.1~3	△ 3.7	△ 1.6	△ 5.5	△ 6.4	△ 28.9
2019.4~6	△ 3.3	△ 1.7	△ 4.7	△ 4.9	△ 27.4
2019.7~9	△ 4.7	△ 3.5	△ 6.1	△ 6.7	△ 27.0
2019.10~12	△ 7.8	△ 9.4	△ 11.9	△ 7.8	△ 27.4
2020.1~3	△ 19.3	△ 20.3	△ 20.9	△ 11.3	△ 22.7
2020.4~6	△ 56.9	△ 59.9	△ 58.9	△ 31.8	△ 2.0
2020.7~9	△ 48.3	△ 56.1	△ 54.6	△ 17.9	△ 7.2
2020.10~12	△ 36.2	△ 47.0	△ 44.9	△ 13.2	△ 13.3
2021.1~3	△ 37.1	△ 41.7	△ 40.1	△ 14.0	△ 12.1
2021.4~6	△ 31.6	△ 14.7	△ 16.8	△ 10.2	△ 12.1
2021.7~9	△ 29.1	△ 14.5	△ 17.2	△ 11.0	△ 15.3
2021.10~12	△ 19.7	△ 3.4	△ 10.6	△ 9.6	△ 20.8
2022.1~3	△ 27.6	△ 12.8	△ 20.4	△ 12.0	△ 19.4
2022.4~6	△ 24.8				

《特別調査》原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について

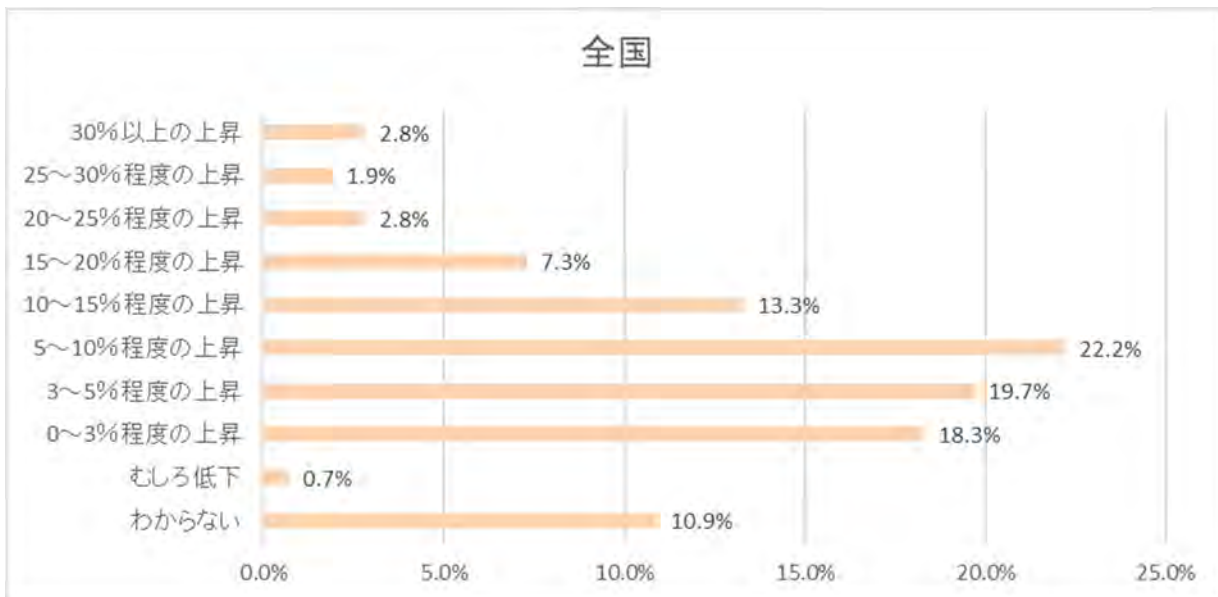
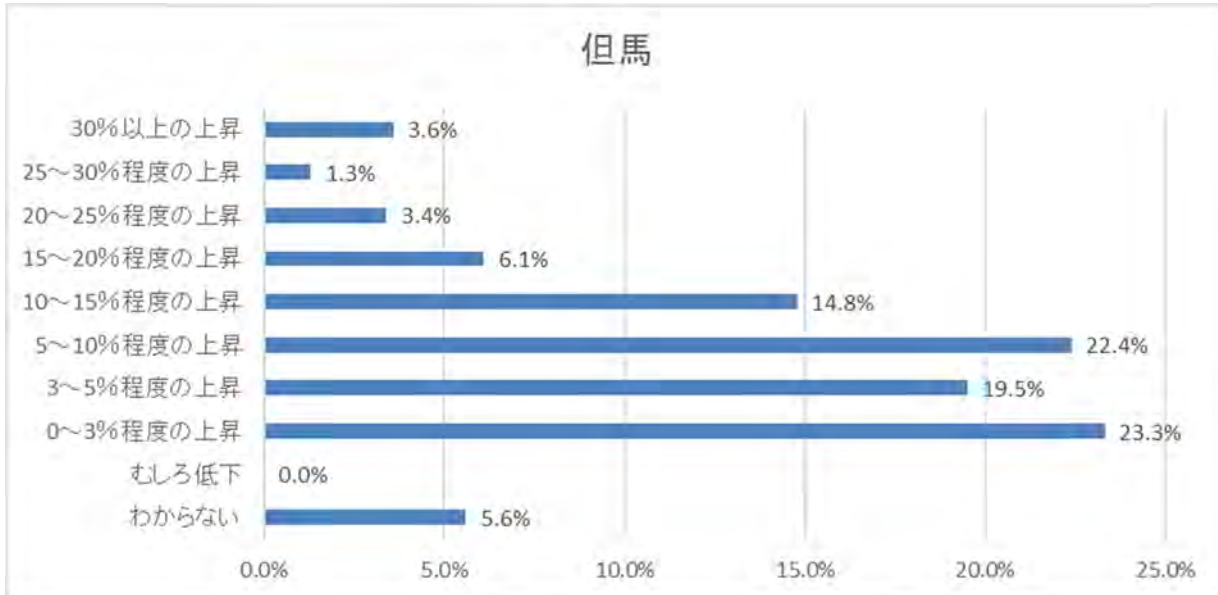
【問1】原材料・仕入価格の上昇による収益への影響

但馬では、「危機的な悪影響がある」が2.7%、「かなり悪影響がある」が33.7%、「多少悪影響がある」が44.3%となり、80.7%が何らかの悪影響を受けている結果であった。全国の調査結果における何らかの悪影響を受けている割合は75.5%であり、但馬のほうが悪影響を受けている割合がやや高かった。



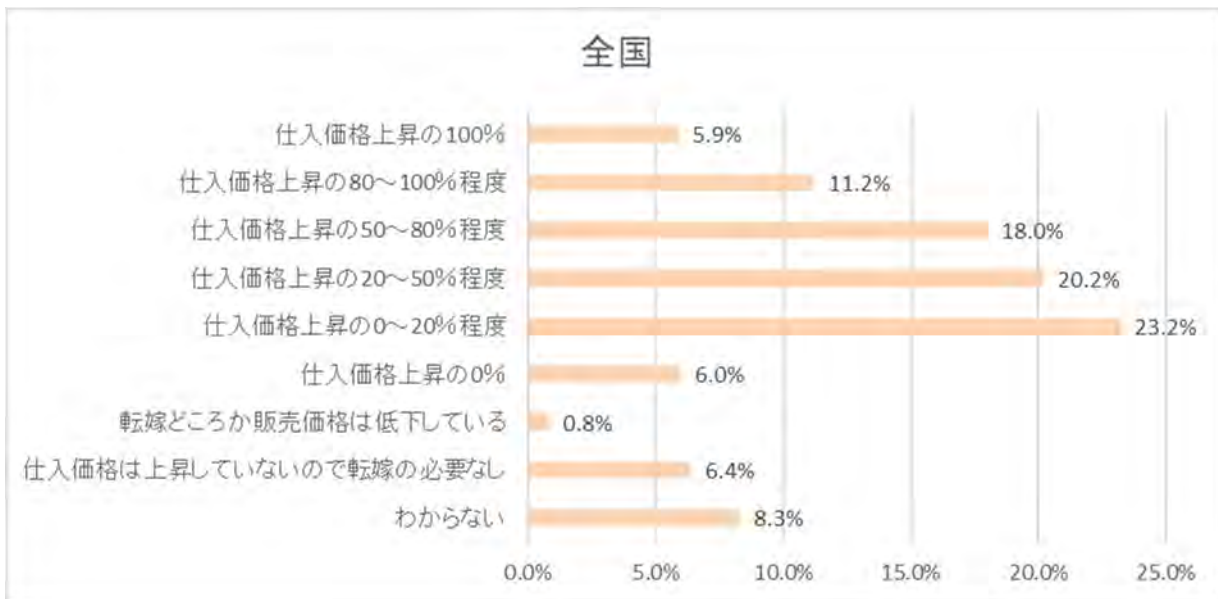
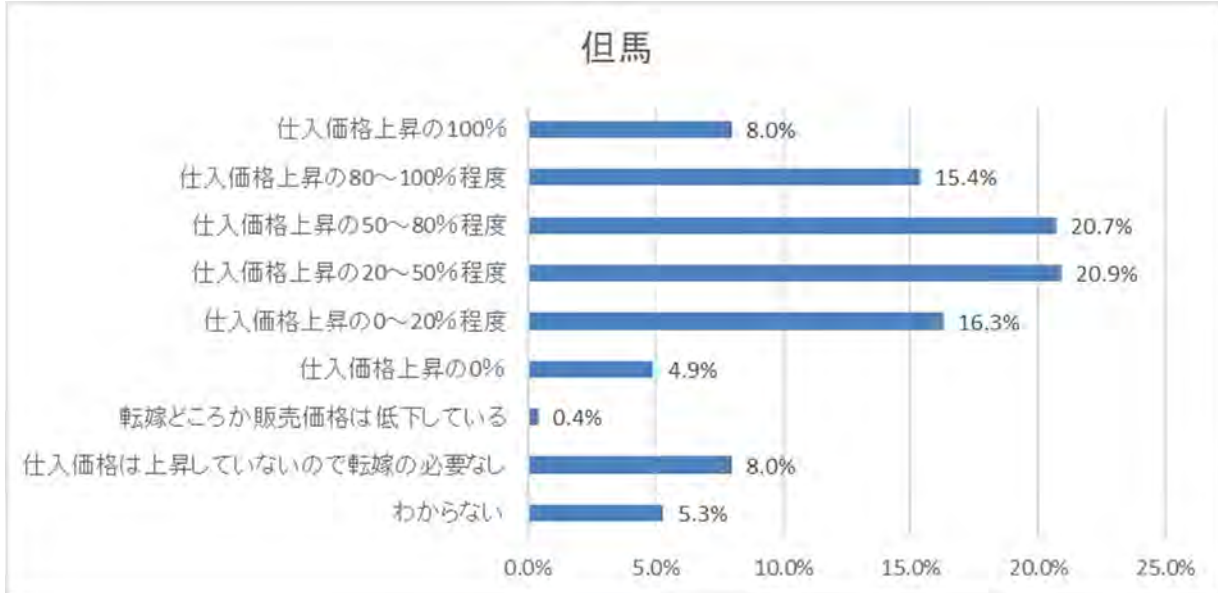
【問2】原材料・仕入価格の1年前と比較した変化

但馬では「0～3%程度の上昇」の割合が最も高く23.3%であったが、全国では「5～10%程度の上昇」の割合が高く22.2%であった。但馬・全国ともに「10%程度までの上昇」が6割程度、「10%以上の上昇」が3割程度であり、全体的には同じような傾向であった。



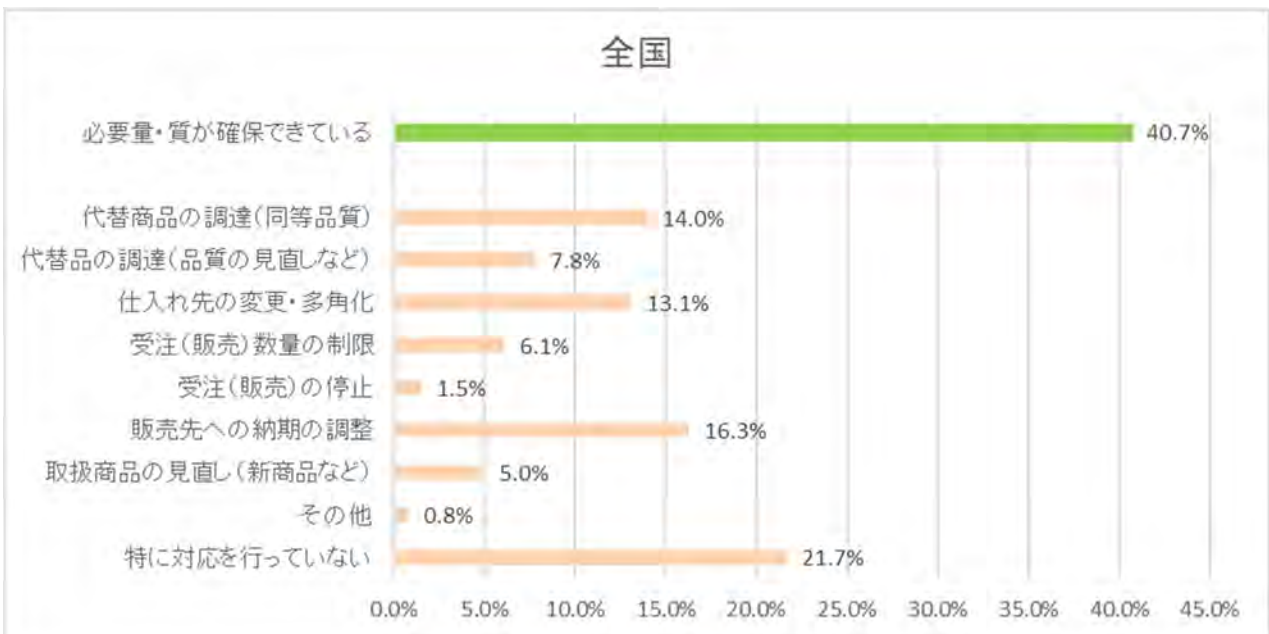
【問3】 原材料・仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できている割合

「仕入価格は上昇していないので転嫁の必要なし」の回答は、但馬が8.0%、全国が6.4%に留まり、多くの企業で仕入価格が上昇していることが窺える。但馬・全国ともに「仕入価格上昇の80%以上を販売価格へ転嫁できている」企業が一定数存在する一方で、ほとんど転嫁できない企業も見られるなど、企業間格差がある結果となった。



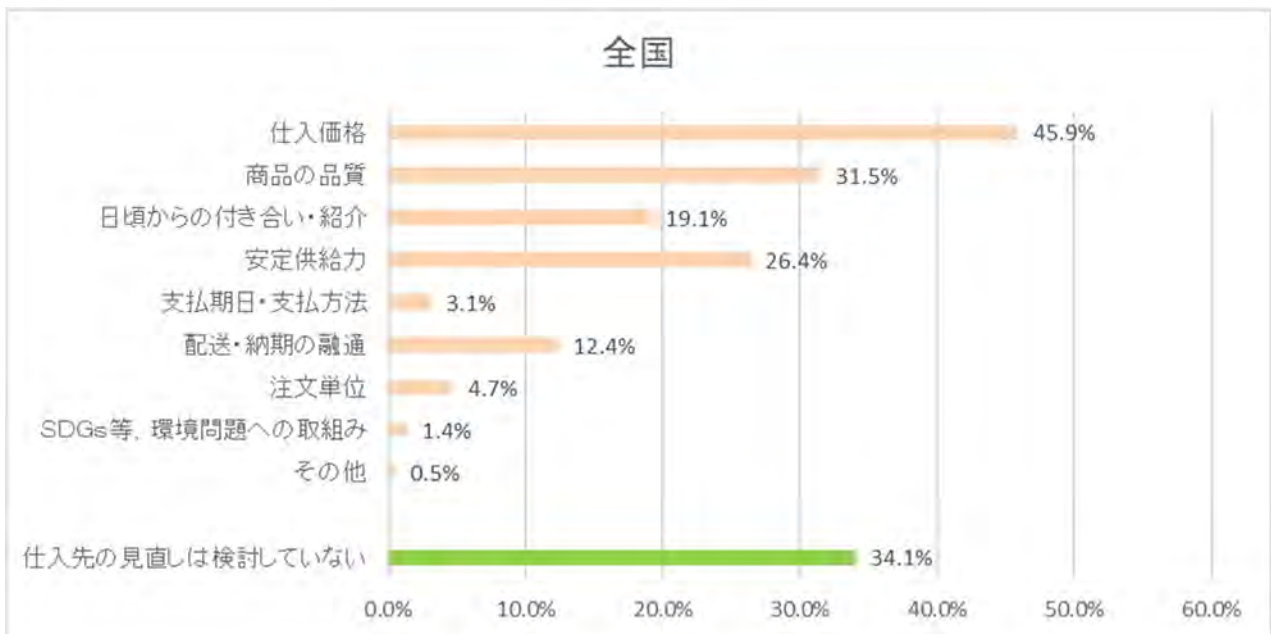
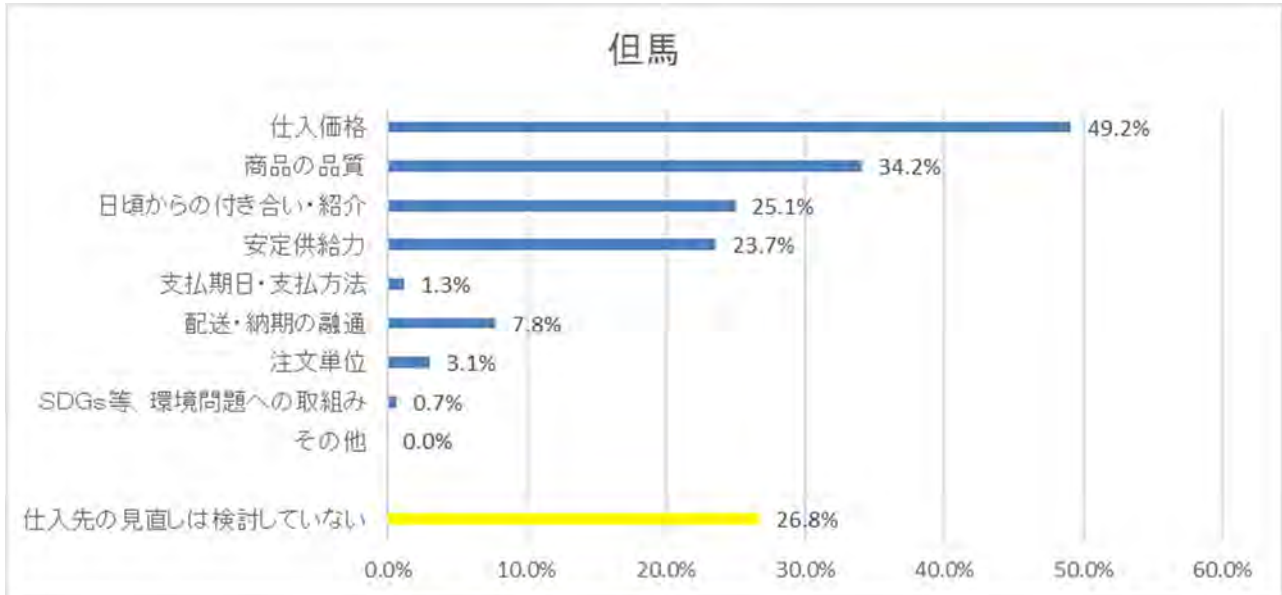
【問4】各種資材や製商品の量や質の確保状況と対策

「必要量・質が確保できている」の回答は、但馬 40.1%・全国 40.7%といずれも4割程度であった。問題を抱えている企業が行っている対策は、但馬が「代替商品の調達（同等品質）」24.1%、「仕入れ先の変更・多角化」12.4%と続くのに対して、全国が「販売先への納期の調整」16.3%、「代替商品の調達（同等品質）」14.0%と続いており、やや異なる傾向が見られた。



【問5】仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点

仕入先の見直し等を検討するにあたって重視する点について、但馬では「仕入価格」49.2%が最も多く、「商品の品質」34.2%が続いた。全国では「仕入価格」45.9%が最も多く、「商品の品質」31.5%が続く結果であった。一方で、「日頃からの付き合い・紹介」は但馬と全国で回答割合に差があり、但馬のほうが「日頃からの付き合い・紹介」を重視している傾向が見られた。



以上

参考文献 信金中央金庫 地域・中小企業研究所「第187回全国中小企業景気動向調査」